

～新年の抱負～

宮沢賢治 「雨にも負けず」

雨にも負けず 風にも負けず
雪にも 夏の暑さにも負けぬ
丈夫な体もち
慾はなく 決して怒らず
いつも 静かに笑っている
一日に 玄米四合と 味噌と
少しの野菜を食べ
あらゆることを
自分を勘定に入れずに
よく 見聞きし 分かり
そして 忘れず
野原の 松の林の 陰の
小さな 萱ぶきの 小屋にいて
東に病気の子供あれば
行って 看病してやり
西に疲れた母あれば
行って その稲の束を負い
南に死にそうな人あれば
行って 怖がらなくてもいいと言い
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないから やめろと言い
日照りの時は 涙を流し
寒さの夏は おろおろ歩き
みんなに 木偶坊（でくのぼう）と呼ばれ
褒（ほ）められもせず 苦にもされず
そういうものに 私はなりたい



私が目指している生き方です。

体は丈夫ですが、なかなか欲はなくなりません。怒ってしまうこともときどきあります。おいしいものはたくさん食べたいし、自分勝手な考えになることもしばしばです。

それでもこんなふうに生きることが私の目標です。